

津野香奈美

1. 著書

- 1) 単著, 津野香奈美, 2024年12月, 日本語, ハラスメント・ゼロの職場を目指して ～管理職が知っておくべき基礎知識と予防・対処法～, 一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会, 1-29
- 2) 単著, 津野香奈美, 2024年12月, 日本語, 管理職・上司のためのハラスメント対策Q&A, 東京法規出版, 1-25
- 3) 共著, 吉村 健佑, 松本 晴樹、近藤 克則、野口 晴子、小谷 和彦、松本 俊彦、石井 洋介、小笠原 定久、山口 育子、鋪野 紀好、津野 香奈美、近藤 尚己、川上 英良、稲葉 可奈子、岸本 泰士郎、加藤 浩晃、佐々木 淳, 2025年02月, 日本語, 医良戦略2040 PART II 熱意を理性でドライブせよ, 第3 章-2 パワハラ対策に科学的根拠を 軸がブレない研究とは, ログカ書房, 337-366

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 共著者, Iida M, Sakuraya A, Imamura K, Asaoka H, Arima H, Ando E, Inoue A, Inoue R, Iwanaga M, Eguchi H, Otsuka Y, Kobayashi Y, Komase Y, Kuribayashi K, Sasaki N, Tsuno K, Hino A, Watanabe K, Ebara T, Shimazu A, Kawakami N, Tsutsumi A, 2024年05月, 英語, Effects of participatory organizational interventions on mental health and work performance: a protocol for systematic review and meta-analysis, 査読あり, J Occup Health, 66, uiae028, 10. 1093/joccu/h/uaie028
- 2) 原著論文, 共著者, Yaginuma-Sakurai K, Saito C, Kasahara Y, Tsuno K, Yoshimasu K, Tatsuta N, Goto M, Nakai K. , 2024年06月, 英語, Work engagement and associated factors among Japanese registered dietitians and dietitians: a cross-sectional study, 査読あり, Ind Health, 62, 161-169, 10. 2486/indhealth. 2023-0094
- 3) 原著論文, 共著者, Odani S, Tsuno K, Agaku IT, Tabuchi T, 2024年06月, 英語, Heated tobacco products do not help smokers quit or prevent relapse: a longitudinal study in Japan, 査読あり, Tobacco Control, 33, 472-80, 10. 1136/tc-2022-057613
- 4) 総説論文, 筆頭著者, 津野香奈美, 2024年07月, 日本語, フリーランスが受けているハラスメントの実態と防止対策の現状, 査読あり, 産業保健法学会誌, 3, 60-4, 10. 57523/jaohl. 3. 1_60
- 5) 原著論文, 共著者, Sasaki N, Kuroda R, Tsuno K, Imamura K, Eguchi H, Shimazu A, Kawakami N, 2024年07月, 英語, Loneliness without distress, chosen isolation (solitude) at the workplace, and mental health and job performance: a cross-sectional study of Japanese employees, 査読あり, Ind Health, 62, 265-270, 10. 2486/indhealth. 2023-0181
- 6) 総説論文, 筆頭著者, 津野香奈美, 2024年09月, 日本語, パワーハラスメントが起こる個人的要

因と組織的要因, 査読なし, 産業精神保健, 32, 252-7, 10. 57339/jjomh. 32. 3_252

- 7) 原著論文, 責任著者, Trinh TD, Tran QA, Nguyen TL, Nguyen TH, Watanabe R, Tsuno K, 2024年11月, 英語, Burnout status of Japanese healthcare workers and the association with medical errors: A 1-year follow-up, 査読あり, International Journal of Risk & Safety in Medicine, 36, 14-25, 10. 1177/09246479241301257
- 8) 原著論文, 共著者, Sasaki N, Imamura K, Watanabe K, Hidaka Y, Sakuraya A, Ando E, Eguchi H, Inoue A, Tsuno K, Komase Y, Iida M, Otsuka Y, Iwanaga M, Kobayashi Y, Inoue R, Shimazu A, Tsutsumi A, Kawakami N, 2025年01月, 英語, Association of psychosocial factors at work with fertility and menstrual disorders: A systematic review, 査読あり, Jpn J Nurs Sci, 22, e12624, 10. 1111/jjns. 12624
- 9) 総説論文, 筆頭著者, 津野香奈美, 2024年11月, 日本語, 私はまちがっていない : ハラスメント加害者の心理, 査読あり, 臨床心理学, 24, 706-713
- 10) 原著論文, 共著者, Sasaki N, Tsuno K, Kuroda R, Imamura K, Eguchi H, Shimazu A, Kawakami N, 2025年02月, 英語, Workplace loneliness and job turnover: A 6-month prospective study. Journal of Occupational Health, 査読あり, J Occup Health, 67, uiaf009, 10. 1093/jocuh/uiaf009

3. その他の著作

- 1) 津野香奈美, 2024年12月, 科学的に見極めたい パワハラをしやすい上長の特徴と対策とは? 経営層全員から毅然としたメッセージを, 企業実務, 63(15):56-9
- 2) 津野香奈美, 2024年06月, ハラスメントを生む組織と人の特性を知って拓く企業の未来! 誰もが働きやすい職場とするための科学的処方箋, ゆうレポート, 61号4ページ
- 3) 津野香奈美, 2024年08月, 公務災害防止のためにも組織的対応を, 地方公務員安全と健康フォーラム, 8-9ページ
- 4) 津野香奈美, 2024年07月, 職場のパワハラ被害をなくすための対処法: パワハラ加害者の特徴を踏まえて検討する, 実効性の高いパワハラ防止策, 労政時報, 4080号70-8ページ
- 5) 津野香奈美, 2024年07月, 文書指導、周囲からの指摘など「パワハラ防止」を可能とする3つの方法, みずほリサーチ&テクノロジーズ (株) Management Flash, 2024年7月27日号
- 6) 津野香奈美, 2024年07月, 管理職研修のヒントに「パワハラ研究」から導く「防止策」, みずほリサーチ&テクノロジーズ (株) Management Flash, 2024年7月27日号
- 7) 津野香奈美, 2024年10月, 管理職研修のヒントに「パワハラ上司・先輩」にならない法～前編, みずほリサーチ&テクノロジーズ (株) Management Flash, 2024年10月18日号
- 8) 津野香奈美, 2024年10月, 管理職研修のヒントに「パワハラ上司・先輩」にならない法～後編, みずほリサーチ&テクノロジーズ (株) Management Flash, 2024年10月18日号
- 9) 津野香奈美, 2025年01月, 博士課程修了後10年間の近況報告, 東京大学精神衛生・看護学教室同窓会ニュースレター, 2025年冬号

- 10) 津野香奈美, 2025年03月, パワハラをしない、されない、させないための新常識, PHP, 923号
48-55ページ

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 筆頭者・責任者, Tsuno K, Mental health while working from home, Joint Symposium by German-speaking Working Time Society and Working Time Japan Society, 2024年05月
- 2) 口頭, 共同研究者, 佐々木那津, 今村幸太郎, 澤田宇多子, 浅岡紘季, 小林由佳, 津野香奈美, 関屋裕希, 渡辺和広, 帯包エリカ, 西大輔, 川上憲人, 働く母親を対象としたWeb心理療法プログラムの満足度に影響する要因の探索, 第97回日本産業衛生学会, 2024年05月
- 3) 口頭, 共同研究者, 川上憲人, 佐々木那津, 黒田玲子, 津野香奈美, 今村幸太郎, 江口尚, 島津明人, 職場の孤立と精神健康、生産性および非生産的職務行動との関係：常勤労働者の横断研究, 第97回日本産業衛生学会, 2024年05月
- 4) 口頭, 筆頭者・責任者, Tsuno K, Tabuchi T, Who perpetrates physical and psychological violence in the workplace? Findings from the nationwide survey in Japan, The 14th International Association on Workplace Bullying & Harassment Conference, 2024年06月
- 5) ポスター, 共同研究者, Otsuka Y, Matsutaka Y, Tsuno K, Iida J, Prototype on-demand LG BTQ+ training program for local residents, 33rd International Congress of Psychology, 2024年07月
- 6) ポスター, 共同研究者, Tanaka K, Kobayashi A, Tsuno K, Yamamoto M, Cognitive complexity training reduced gender harassment, 33rd International Congress of Psychology, 2024年07月
- 7) 口頭, 筆頭者・責任者, 津野香奈美, 科学的根拠に基づく医療分野のハラスメント対策, 第56回日本医学教育学会大会, 2024年08月
- 8) 口頭, 共同研究者, 田中琴音, 津野香奈美, 遠又靖丈, 世帯の経済的・時間的ゆとりと幼児の肥満の関連：乳幼児栄養調査による横断研究, 第71回日本栄養改善学会学術総会, 2024年09月, 他学科との共同研究
- 9) 口頭, 筆頭者・責任者, 津野香奈美, パワハラ健康影響と発生防止のための対策, 日本産業保健法学会第4回学術大会, 2024年09月
- 10) 口頭, 共同研究者, 松高由佳, 大塚泰正, 飯田順子, 津野香奈美, 性的マイノリティの人々が職場や就職活動で経験する困難, コミュニティ心理学会第27回大会, 2024年10月
- 11) 口頭, 筆頭者・責任者, 津野香奈美, 教育現場で起きるSOGIハラスメントとその対策, 日本学校メンタルヘルス学会第28回大会, 2024年11月
- 12) 口頭, 筆頭者, 津野香奈美, 有本梓, 今松友紀, 小林由美子, 佐藤みほ, 宮崎智之, X (旧Twitter) における生きづらさに関する投稿の年間推移と関連単語, 第83回日本公衆衛生学会

, 2024年10月

- 13) 口頭, 筆頭者・責任者, 津野香奈美, パワーハラスメントに関する近年の動向, 第32回日本産業ストレス学会, 2024年12月
- 14) ポスター, 共同研究者, Azusa Arimoto, Eriko Ito, Yuka Iwata, Eiki Akatsuka, Yuki Imamatsu, Yumiko Kobayashi, Masana Sannnomiya, Miho Sato, Ayumi Fusejima, Kanami Tsuno, Kenkichi Takase, Takashi Sugiyama, Tomoyuki Miyazaki, Cohort profile and feasibility of The Youth Mental Health Problem and Psychological Well-being Cohort Study - a 10-week longitudinal study among young adults in Japan, The 28th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2025年02月
- 15) 口頭, 共同研究者, 佐々木那津, 黒田玲子, 津野香奈美, 今村幸太郎, 江口尚, 島津明人, 川上憲人, 職場における孤独感と孤立が精神健康および仕事関連アウトカムに及ぼす影響: 横断研究, 第17回遠隔産業衛生研究会, 2025年03月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本産業ストレス学会, 理事, 2014. 11～
- 2) 日本産業ストレス学会, 評議員, 2014. 11～
- 3) 日本産業ストレス学会, 編集委員, 2015. 1～
- 4) 公益財団法人21世紀職業財団, ハラスメント防止コンサルタント, 2015. 3～2025. 3
- 5) 労働時間日本学会, 理事, 2016. 6～
- 6) 一般社団法人日本行動医学会, 理事, 2016. 7～
- 7) 一般社団法人日本行動医学会, 編集委員, 2016. 7～
- 8) 一般社団法人日本行動医学会, 国際交流委員会委員長, 2020～
- 9) 一般社団法人日本疫学会, 疫学専門家, 2020. 3～
- 10) 一般社団法人日本疫学会, 上級疫学専門家, 2025. 3～
- 11) 一般社団法人日本疫学会, 代議員, 2023. 6～
- 12) 一般社団法人日本疫学会, 第4回疫学専門家認定筆記試験出題委員, 2024. 6～
- 13) 一般社団法人日本疫学会, 第4回疫学専門家認定筆記試験ブラッシュアップ委員, 2024. 6～
- 14) 公益社団法人日本産業衛生学会, 代議員, 2022. 10～
- 15) 公益社団法人日本産業衛生学会, 編集委員, 2020. 4～
- 16) 公益社団法人日本産業衛生学会, Field Editor, Journal of Occupational Health, 2023. 4～
- 17) 公益社団法人日本産業衛生学会, Field Editor, Environmental and Occupational Health Practice, 2023. 4～
- 18) 神奈川県立循環器呼吸器病センター, 研究倫理審査委員, 2020. 9～
- 19) 神奈川県立循環器呼吸器病センター, 倫理委員, 2020. 9～
- 20) 神奈川県, 生活習慣病対策委員会委員, 2021. 4～

- 21) 神奈川県, 生活習慣病対策委員会かながわ健康プラン21目標評価部会委員, 2021. 4～
- 22) 神奈川県相模原市, 参与, 2021. 4～
- 23) 東京都港区, 男女平等参画苦情処理委員, 2020. 9～
- 24) 東京都目黒区, 男女平等・共同参画オンブーズ, 2022. 4～
- 25) 神奈川県小田原市, ハラスメント対策推進アドバイザー, 2022. 10～
- 26) 株式会社クオレ・シー・キューブ, 人と場研究所所長, 2023. 7～
- 27) PLOS, Editor, PLOS Mental Health, 2023. 11～
- 28) 一般財団法人厚生労働統計協会, 「医療職のための統計セミナー事業」事業協力者, 2023. 4～
- 29) 一般社団法人日本公衆衛生学会, 代議員, 2023. 9～

6. 社会貢献

- 1) 神奈川県相模原市参与として風通しの良い職場づくりへの助言, 通年
- 2) 神奈川県小田原市 ハラスメント対策への助言, 通年
- 3) 東京都目黒区男女平等・共同参画オンブーズとして市民からの相談対応実施, 通年
- 4) 東京都港区男女平等参画苦情処理委員として市民からの相談対応実施, 通年
- 5) 株式会社クオレ・シー・キューブ人と場研究所所長として、企業での調査データの取りまとめやeラーニングの監修、研修開発, 通年
- 6) 東京大学職場のメンタルヘルス専門家養成プログラム基礎コースに講師として登壇, 2024. 10
- 7) 厚生労働省 過労死等防止対策推進シンポジウムへの登壇, 2024. 11
- 8) 神奈川県 労働大学講座で講義実施, 2024. 11
- 9) 湘南鎌倉医療大学にて博士課程院生向けに講義を4回実施, 2024. 12
- 10) 慶応義塾大学湘南藤沢キャンパスにて学部生向けに講義実施, 2025. 1

7. 講演, 放送

- 1) 朝日新聞デジタル『ハラスメント起こしやすいタイプは？ 加害者に共通する「未熟さ」』, 2024. 4. 4, <https://www.asahi.com/articles/ASS225K40R6VPLBJ001.html>
- 2) 日本海新聞『「放任上司」自治体が対策 対等関係、研修で注意喚起 職場環境悪化を未然防止』, 2024. 7. 24, <https://www.nnn.co.jp/articles/-/357009>
- 3) 山陽新聞『「放任上司」自治体が対策 対等関係、研修で注意喚起 職場環境悪化を未然防止』, 2024. 7. 24, <https://www.sanyonews.jp/article/1585454>
- 4) 静岡新聞『「放任上司」自治体が対策 対等関係、研修で注意喚起 職場環境悪化を未然防止』, 2024. 7. 24, <https://news.at-s.com/article/1518770?1b1=861>
- 5) 朝日新聞『(耕論)暴走する首長 津野香奈美さん、稲村和美さん、西岡研介さん』, 2024. 9. 13, <https://www.asahi.com/articles/ASS9D13WJS9DUPQJ005M.html>

- 6) プレジデントオンライン『齋藤元彦兵庫県知事は「辞めない初の首長」になるのか…泣きながらも「自分は悪くない」と開き直る本当の理由』, 2024. 9. 16, <https://president.jp/articles/-/86104?page=6>
- 7) TBS NEWS DIG『「モーセの十戒のように部下が左右に割れ…」 “私は偉い” 万能感からパワハラ行為者になってしまった女性の告白と、人がパワハラに及ぶ背景』, 2024. 9. 29, <https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/1455204?display=1>
- 8) 朝日新聞『過労死防止シンポ、名古屋で開催へ 「健康に働き続けられる社会に」』, 2024. 10. 22, <https://www.asahi.com/articles/ASSBP51V2SBP0IPE001M.html>
- 9) 東洋経済オンライン『「パワハラが生まれやすい職場」に顕著な傾向3つ』, 2025. 3. 3, <https://toyokeizai.net/articles/-/859372>
- 10) 東洋経済オンライン『“管理職にはNGな人”見抜く4つの「パワハラ特性」』, 2025. 3. 4, <https://toyokeizai.net/articles/-/859381>
- 11) 集英社オンライン『タイピング音や同僚の独り言…他人のことを考えない不快な「音ハラ」を許せない人が続出！専門家は「〇〇ハラ」の急増に懸念も…』, 2025. 3. 25, <https://shueisha.online/articles/-/253423>
- 12) 日本経済新聞『#私が退職した本当の理由 ハラスメント告白どう対応?』, 2025. 3. 28, <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUD18AI20Y5A310C2000000/>
- 13) ピースマインド株式会社講演『なぜハラスメントがなくなるのか？ インシビリティ（礼節の欠如）から考えるギスギス職場の風土改革』, 2024. 4. 24
- 14) 上智大学グローバル・スタディーズ研究科FD『ハラスメントは他人事じゃない—科学で解明した発生メカニズムと対策』, 2024. 6. 5
- 15) 令和6年度中災防実務向上研修（東京）『科学的根拠に基づく産業保健活動の進め方～実践活動データを集めてまとめて伝えるワザ～』, 2024. 7. 22
- 16) 令和6年度中災防実務向上研修（福岡）『科学的根拠に基づく産業保健活動の進め方～実践活動データを集めてまとめて伝えるワザ～』, 2024. 8. 2
- 17) 豊橋創造大学2024 年度ハラスメント防止研修会『ハラスメントが起きるメカニズム：学内でハラスメントをしない・させないために一人一人ができること』, 2024. 8. 6
- 18) 一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会東京支部 令和6年度第3回労働安全衛生研修会『パワハラをどのように理解するか？どんな対応が必要か?』, 2024. 9. 27
- 19) メディカ出版フェムナース 管理職が知っておきたい 令和版 看護師が「辞めない」職場のつくりかた ～女性が健康で長く働き続けるために～『令和にアップデート できていますか？ 人が辞める職場と 人が集まる職場』, 2024. 10. 6
- 20) 厚生労働省 令和6年度過労死等防止対策推進シンポジウム（東京中央会場）『パワハラのは発生は 予防できるのか？過労死のない社会を目指して』, 2024. 11. 6
- 21) 厚生労働省 令和6年度過労死等防止対策推進シンポジウム（新潟会場）『パワハラのは発生は 予防できるのか？過労死のない社会を目指して』, 2024. 11. 11
- 22) 厚生労働省 令和6年度過労死等防止対策推進シンポジウム（愛知会場）『パワハラのは

- 生は 予防できるのか？過労死のない社会を目指して』, 2024. 11. 12
- 23) 株式会社ウェルネスライフサポート研究所2024年度健康教育スキルアップ研究会『健康支援活動に活かす！知っておきたいデータ活用の基礎知識』, 2024. 11. 16
- 24) 厚生労働省 令和6年度過労死等防止対策推進シンポジウム（山口会場）『パワハラのは発生は 予防できるのか？過労死のない社会を目指して』, 2024. 11. 19
- 25) 全国人権擁護委員連合会と企業との連携シンポジウム『企業における人権尊重のための取組～パワーハラスメントの未然防止に向けて～』, 2024. 11. 21
- 26) 厚生労働省 令和6年度過労死等防止対策推進シンポジウム（千葉会場）『パワハラのは発生は 予防できるのか？過労死のない社会を目指して』, 2024. 11. 26
- 27) 厚生労働省 令和6年度過労死等防止対策推進シンポジウム（長崎会場）『パワハラのは発生は 予防できるのか？過労死のない社会を目指して』, 2024. 11. 30
- 28) 昭和薬科大学ハラスメント防止対策委員会主催2024年度研修会『日本におけるカスタマーハラスメントの現状と大学における対策』, 2024. 12. 9
- 29) 慶應義塾大学『産業保健心理学』職場のいじめ・ハラスメントとメンタルヘルス, 2025. 1. 21
- 30) 多摩市管理職向けハラスメント研修, 2025. 1. 29
- 31) 新潟県庁令和6年度コミュニケーション能力向上セミナー『職場の“インシビリティ”をなくしより良い信頼関係を構築するために』, 2025. 2. 3
- 32) 地方独立行政法人神奈川県立病院機構『パワハラ上司にならないための部下指導方法』, 2025. 2. 4
- 33) 第30回疫学の未来を語る若手の集い『若手研究者が知っておきたい ハラスメントに遭わないコツ・うっかりやらないコツ』, 2025. 2. 12
- 34) 東大SPHキャリアデザイン懇談会『SPH修了後の助教～教授就任までの道のり』, 2025. 3. 7
- 35) 一般財団法人厚生労働統計協会 第14回医療職のための統計セミナー『社会調査の企画と調査票の作成』, 2025. 3. 8
- 36) 北海道医療大学全学FD・SDセミナー『科学的根拠に基づく医療分野のハラスメント対策』, 2025. 3. 10
- 37) 済生会横浜市東部病院 管理者のためのメンタルヘルス研修『パワハラ発生のメカニズムと予防のための実践的アプローチ』, 2025. 3. 13
- 38) 東京大学TOMH基礎コース『職場のメンタルヘルスの専門家としてハラスメント問題に対応するには』, 2024. 8. 31

8. 学会等での活動

- 1) 第56回日本医学教育学会大会招請講演, 2024. 8. 9
- 2) 日本産業保健法学会第4回学術大会連携学会シンポジウム登壇, 2024. 9. 22
- 3) 日本学校メンタルヘルス学会第28回大会 シンポジウム登壇, 2024. 11. 2

- 4) 第32回日本産業ストレス学会 シンポジウム登壇, 2024. 12. 13
- 5) 第31回日本行動医学会学術総会ポスターセッション座長, 2025. 2. 2
- 6) 第30回疫学の未来を語る若手の集い 講演会講師, 2025. 2. 12

9. 学内教育活動

1) 学部

『公衆衛生学Ⅰ』（栄養学科）で1回講義を実施, 2025. 1

『公衆衛生学Ⅱ』（栄養学科）で2回講義を実施, 2024. 11

2) 博士前期課程

『健康行動科学』（ヘルスイノベーション研究科）科目責任者として15回の講義実施, 2024. 4～2024. 7

『健康行動科学』（ヘルスイノベーション研究科）レポート採点, 2024. 8

『社会健康学・社会疫学』（ヘルスイノベーション研究科）科目責任者として15回の講義実施, 2024. 10～2024. 11

『社会健康学・社会疫学』（ヘルスイノベーション研究科）レポート採点, 2024. 12～2025. 1

『産業保健学』（ヘルスイノベーション研究科）にて講義実施, 2024. 10～2024. 11

『産業保健学演習』（ヘルスイノベーション研究科）にて講義実施, 2024. 4～2024. 6

『ヘルスイノベーション演習基礎』（ヘルスイノベーション研究科）にて15回の講義実施, 2024. 11～2025. 3

『ヘルスイノベーション演習』（ヘルスイノベーション研究科）にて研究指導実施, 通年
修士課程の研究指導：指導教員担当学生4名、指導補助教員担当学生4名, 通年

3) 博士後期課程

『パブリックヘルスリーダーシップ特講』（ヘルスイノベーション研究科）にて2回講義実施, 2024. 5

博士課程の研究指導：指導補助教員担当学生1名, 通年

10. 学内各種委員会活動

- 1) ヘルスイノベーション研究科 研究倫理審査委員会委員長, 2023. 4～
- 2) ヘルスイノベーション研究科 企画・広報委員会委員, 2024. 4～
- 3) ヘルスイノベーション研究科 入試面接委員, 2019. 4～
- 4) ヘルスイノベーション研究科 教員選考委員, 通年
- 5) ヘルスイノベーション推進研究助成 選考委員会委員長, 通年

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C), 代表者, 津野香奈美, 田淵貴大, 暴力・ハラスメント加害の個人要因・職

場環境要因の解明, 4, 550千円, 2024. 4. 1, 2027. 3. 31

- 2) JST, 分担者, 宮崎智之, 津野香奈美ほか, 若者の生きづらさを解消し高いウェルビーイングを実現する共創拠点, 2022. 11. 1, 2031. 3. 31
- 3) 基盤研究 (B) , 分担者, 大塚泰正, 津野香奈美, 松高由佳, 飯田順子, 地域住民を対象としたオンデマンド型LGBTQ+理解促進プログラムの開発, 18, 460千円, 2023. 4. 1, 2026. 3. 31
- 4) 基盤研究 (C) , 分担者, 田中堅一郎, 津野香奈美, 山本真菜, 認知的複雑性の醸成による職場のジェンダー・ハラスメント抑制に関する実験的研究, 3, 380千円, 2023. 4. 1, 2026. 3. 31

12. 学内研究助成金の受託

- 1) ヘルスイノベーション推進研究費, 代表者, 津野香奈美, 渡邊亮, 黒河昭雄, 神奈川県における健康の地域格差要因の解明, 1, 000千円, 2023. 4. 1, 2026. 3. 31